

長岡技術科学大学学報

平成16年10月1日

総務部総務課

目次

学内規則	1	諸報	31
人事	3	・受賞関係	31
・人事異動	3	・技術開発懇談会	31
会議	4	・平成16年度高度技術者研修	31
学事	9	・長岡市による燃料電池自動車展示・体験同乗会	31
・博士(工学)の学位授与	9	・第1回eHELP(eラーニング総合活用高等教育連携事業)全体会議	31
・平成17年度第1学年学生募集の概要	10	・技術職員研修	32
・平成17年度第1学年学生募集要項(推薦による入学者の選抜)	17	・中学校数学アカデミー	32
・2005年度大学院工学研究科修士課程社会人留学生特別コース学生募集要項(国費外国人留学生用)(概要)	20	・サイエンス・パートナーシップ・プログラム	32
・2005年度大学院工学研究科修士課程社会人留学生特別コース学生募集要項(私費外国人留学生用)(概要)	22	・匠陵講演会	32
・2005年度大学院工学研究科博士後期課程社会人留学生特別コース学生募集要項(国費外国人留学生用)(概要)	24	・特別講演会	32
・2005年度大学院工学研究科博士後期課程社会人留学生特別コース学生募集要項(私費外国人留学生用)(概要)	26	・第1回就職ガイダンス	33
・平成17年度第3学年入学者選抜状況	28	・エイズ講演会	33
・平成17年度大学院工学研究科修士課程入学者選抜状況(第1次募集)	30	・第53回関東甲信越大学体育大会	33
・平成17年度大学院工学研究科博士後期課程入学者選抜状況(第1次募集)	30	・第24回技大祭	33
		・秋季球技大会	33
		・第24回駅伝大会	33
		・第6回(平成16年度)高等専門学校及び技術科学大学図書館情報シンポジウム	33
		・外国人留学生交流ネットワーク構築に係る協議会(長岡技術科学大学タイ同窓会)	33
		・第2回留学生センター研究会	34
		・平成16年度科学研究費補助金交付決定一覧	34
		・日誌	36
		・平成16年度学内委員会委員等の異動	38

学内規則

国立大学法人長岡技術科学大学文書決裁規程の一部を改正する規程

平成16年8月31日
規程第65号

〔改正理由〕

私事渡航の承認を廃止するため。

国立大学法人長岡技術科学大学文書決裁規程（平成 16 年 4 月 1 日制定）の一部を次のように改正する。

別表第 2（第 6 条関係）中

「

共通	13 事務職員（事務局長、部長及び課長を除く。）の海外渡航の承認及び外国出張の命令	学 長	事務局長
----	---	-----	------

」を

「

共通	13 事務職員（事務局長、部長及び課長を除く。）の外国出張の命令	学 長	事務局長
----	----------------------------------	-----	------

」に、

「

総務課	13 教員の海外渡航の承認、出張の命令及び出張依頼等の承認	学 長	各系長 センター長
-----	-------------------------------	-----	--------------

」を

「

総務課	13 教員の出張の命令及び出張依頼等の承認	学 長	各系長 センター長
-----	-----------------------	-----	--------------

」に改める。

附 則

この規程は、平成 16 年 8 月 31 日から施行する。

国立大学法人長岡技術科学大学事務分掌規程の一部を改正する規程

（平成 16 年 8 月 31 日
規 程 第 6 6 号）

〔改正理由〕

学務課専門員の事務分掌の見直しにより、所要の改正を行うこと。

国立大学法人長岡技術科学大学事務分掌規程（平成 16 年 4 月 1 日制定）の一部を次のように改正する。

第 7 条第 2 項中「実地の訓練及び単位の互換に関する事項」を「教育課程及び修学指導に関する事項」に改める。

附 則

この規程は、平成 16 年 9 月 1 日から施行する。

国立大学法人長岡技術科学大学会計事務取扱細則の一部を改正する細則

（平成 16 年 10 月 1 日
細 則 第 1 5 号）

国立大学法人長岡技術科学大会計事務取扱細則（平成 16 年 4 月 1 日制定）の一部を次のように改正する。

第 10 条の次に次の 1 条を加える。

（予算の補正）

第 10 条の 2 学長は、予算を追加又は変更（以下「補正」という。）するときは、補正予算案を作成し、経営協議会の議を経た後、役員会の議を経て補正予算を決定する。

2 緊急を要するため前項の手続を経ることができない場合は、学長が補正予算を決定することができる。

3 前項の規定により、補正予算を決定したときは、その直後に開かれる経営協議会及び役員会に報告しなければならない。

附 則

この細則は、平成 16 年 10 月 1 日から施行する。

国立大学法人長岡技術科学大学安全衛生管理委員会 学生の安全対策検討部会設置要項	平成 16 年 8 月 23 日	学 長 裁 定
国立大学法人長岡技術科学大学外国人留学生受入れ に伴う支援事業実施要項	平成 16 年 8 月 31 日	学 長 裁 定
国立大学法人長岡技術科学大学開学 30 周年記念事業 実施委員会要項	平成 16 年 9 月 10 日	学 長 裁 定
国立大学法人長岡技術科学大学予算検討会議要項	平成 16 年 10 月 1 日	学 長 裁 定

人 事

人事異動

（学長発令）

発令年月日	氏 名	発 令 内 容	発令前の職名等
（教育職員）			
16. 8. 1	田中泰司	助手（環境・建設系）（採用）	
16. 8. 31	田村淳一	辞職	助手（機械系）
16. 9. 1	武井由智	助教授（電気系）（昇任）	助手（電気系）
16. 9. 30	長谷川光彦	辞職	教授（経営情報系）
	樋口良之	辞職（福島大学助教授）	助教授（経営情報系）
16. 10. 1	岡崎正和	教授（機械系）（昇任）	助教授（機械系）
	鎌土重晴	教授（機械系）（昇任 任期 平 21. 9. 30 まで）	助教授（機械系）
（事務系職員）			
16. 9. 1	横山 昭	教務部学務課専門職員（兼務免） 教育交流担当（免） 教務担当（命）	教務部学務課専門員（教育交流担当） （兼務）教務部学務課専門職員
	金山勝春	教務部学務課専門職員（教育交流担当）（配置換）	教務部留学生課留学生係長
	高田暁子	教務部留学生課留学生係長（配置換）	教務部留学生課（留学生係）
		電気・情報技術班（兼務免）	（兼務）電気・情報技術班
	寺澤 武	教務部留学生課（留学生係）（採用）	

会 議

役員会

〔第6回〕

- ・日時 平成16年9月8日(水) 9時
- 議題 1. 平成17年度特別教育研究経費概算要求事項について
- 2. 平成17年度学内予算編成等日程について
- 3. 平成16年度学部資金に係る共通経費・間接経費予算額について
- 4. 開学30周年記念事業について
- 5. 学長の選考・解任及び任期について

教育研究評議会

〔第7回〕

- ・日時 平成16年9月8日(水) 13時30分
- 議題 1. 教員の選考について
- 2. 教員選考委員会の設置について
- 3. 助手の選考について
- 4. 国立環境研究所及び産業安全研究所との連携大学院の協定締結について
- 5. 学位審査取扱規程の運用に関する申合せの改正について
- 6. 学生の処分について

教授会(教授, 助教授, 講師)

〔第315回〕

- ・日時 平成16年7月14日(水) 13時30分
- 議題 1. 博士後期課程を単位修得した上で退学した者の学位申請に関する申合せについて
- 2. 平成16年度大学院工学研究科修士課程9月入学者選抜試験合格者の選考について
- 3. 平成16年度大学院工学研究科博士後期課程9月進学者の選考(第2次選考)について
- 4. 平成16年度大学院工学研究科博士後期課程9月入学者選抜試験合格者の選考について
- 5. 平成17年度第3学年(学力選抜)入学者選抜試験合格者の選考について

- 6. 平成17年度大学院工学研究科修士課程入学者選抜試験(学内選抜)推薦者の決定について
- 7. 平成17年度大学院工学研究科修士課程(高専専攻科修了見込者推薦選抜)入学者選抜試験合格者の選考について
- 8. 大学院工学研究科修了者(8月期)の認定について
- 9. 論文博士の学位授与について
- 10. 学位論文審査付託に係る審査委員の指名について

〔第316回〕

- ・日時 平成16年9月15日(水) 13時30分
- 議題 1. 学位審査取扱規程の運用に関する申合せの改正について
- 2. 学生の処分について
- 3. 平成17年度大学院工学研究科修士課程入学者選抜試験合格者の選考について
- 4. 平成17年度大学院工学研究科博士後期課程進学者の選考(第1次選考)について
- 5. 平成17年度大学院工学研究科博士後期課程入学者選抜試験(第1次選考)合格者の選考について
- 6. 学部卒業者(9月期)の認定について
- 7. 大学院工学研究科修了者(9月期)の認定について

教授会(教授)

〔第315回〕

- ・日時 平成16年7月14日(水) 15時47分
- 議題 1. 教員の選考について
- 2. 教員選考委員会の設置について
- 3. 平成16年度非常勤講師の選考について
- 4. 技術開発センター非常勤講師(客員教授及び客員助教授)の選考について

〔第316回〕

- ・日時 平成16年9月15日(水) 15時50分
- 議題 1. 教員の選考について

2. 教員選考委員会の設置について
3. 助手の選考について
4. 技術開発センター非常勤講師（客員助教授）の選考について
5. 連携大学院非常勤講師（客員教授及び客員助教授）の選考について

評価室会議

〔第1回〕

- ・日時 平成16年8月5日(木) 9時
- 議題 1. 教員評価の基本方針について

〔第2回〕

- ・日時 平成16年9月14日(火) 10時30分
- 議題 1. 教員評価の基本方針について

情報基盤推進本部会議

〔第3回〕

- ・日時 平成16年7月20日(火) 9時
- 議題 1. 情報技術関連業務の現状と課題について

〔第4回〕

- ・日時 平成16年8月5日(木) 15時
- 議題 1. 情報技術関連業務の現状と課題について

広報委員会VOS専門部会

〔第3回〕

- ・日時 平成16年7月20日(火) 15時
- 議題 1. VOS 123号の発行について

〔第4回〕

- ・日時 平成16年9月24日(金) 15時
- 議題 1. VOS 124号の発行について

安全衛生管理委員会

〔第2回〕

- ・日時 平成16年7月29日(木) 13時30分
- 議題 1. 学生の安全対策検討部会の設置について
- 2. 全国安全週間における自主点検結果について
- 3. 裁量労働従事者の健康状態自己診断について
- 4. 有機溶剤中毒予防規則の適用除外申請に伴う現地調査について

〔第3回〕

- ・日時 平成16年8月25日(水) 13時30分
- 議題 1. 安全管理に係る学内パトロールの

導入について

2. レーザー機器装置の設置状況等調査について
3. 一般健康診断及び特殊健康診断の実施について
4. 局所排気装置の定期点検について
5. 自主点検結果及びタコ足配線等の再点検結果について
6. 有機溶剤の適正管理について

〔第4回〕

- ・日時 平成16年9月22日(水) 13時30分
- 議題 1. 安全管理に係る学内パトロールの導入及び安全点検の記録の保管について
- 2. 裁量労働従事者の健康状態自己診断の結果について
- 3. 実験室等の安全衛生管理に係る確認事項について
- 4. 全国労働衛生週間について
- 5. 労働安全衛生コンサルタントによる学内調査報告書について

学術国際委員会

〔第3回〕

- ・日時 平成16年7月12日(月)
(持ち回り議決日)
- 議題 1. 長岡技術科学大学とマラヤ大学との学生交流に関する覚書について
- 2. 長岡技術科学大学とヌエボレオンコンソーシアムとの学術交流に関する協定について
- 3. 長岡技術科学大学とミチョアカナ大学との学術交流に関する協定について

〔第4回〕

- ・日時 平成16年8月2日(月)
(持ち回り議決日)
- 議題 1. 長岡技術科学大学と青海大学との学術交流に関する協定について

〔第5回〕

- ・日時 平成16年8月30日(月) 9時30分
- 議題 1. 長岡技術科学大学化学系と鄭州大学材料工程学院との学術交流に関する協定について
- 2. 長岡技術科学大学と華南理工大学との学術交流に関する協定について
- 3. 外国人研究者の受入れについて

第2回ハノイ工科大学とのツイニング・プログラム推進室会議

- ・日時 平成16年9月21日(火) 14時30分
- 議題 1. ツイニング・プログラムの入学試験について
- 2. 越越協会役員会について
- 3. ヴィエトナム - 日本コンソーシアム会議の開催について

施設環境委員会

[第70回]

- ・日時 平成16年7月28日(木) 10時
- 議題 1. 総合研究棟空スペースについて
- 2. 固定資産貸付許可について
- 3. キャンパスマスタープランについて
- 4. スペースチャージ制度の導入について

[第71回]

- ・日時 平成16年9月1日(水) 10時
- 議題 1. 総合研究棟共用スペース使用者の選考について
- 2. スペースチャージ制度の導入について
- 3. キャンパスマスタープランについて
- 4. 共用スペース使用者選考基準について

第1回防火対策委員会

- ・日時 平成16年7月14日(水) 16時40分
- 議題 1. 防災訓練(総合訓練)の実施について
- 2. 防災講演の開催について
- 3. 部分訓練について

技術開発センター運営委員会

[第4回]

- ・日時 平成16年9月3日(金) 13時
- 議題 1. 技術開発センターにおけるプロジェクト研究の実施について
- 2. 研究支援推進員の採用について

[第5回]

- ・日時 平成16年9月6日(月) 10時
- 議題 1. 技術開発センタープロジェクトの申請について

テクノインキュベーションセンター運営委員会

[第2回]

- ・日時 平成16年7月8日(木) 10時30分
- 議題 1. 平成16年度テクノインキュベーションセンター予算(案)について
- 2. リエゾンマネージャーの採用について
- 3. テクノインキュベーションセンターパンフレットの発行について
- 4. 技術シーズプレゼンテーションの実施計画(案)について
- 5. 特許出願における明細書作成支援計画について
- 6. テクノインキュベーションセンターにおける大学発ベンチャー支援の方針(案)について

[第3回]

- ・日時 平成16年8月30日(月)
(持ち回り議決日)
- 議題 1. テクノインキュベーションブース利用申請に関わる許可について

第1回極限エネルギー密度工学研究センター運営委員会

- ・日時 平成16年7月14日(水) 11時30分
- 議題 1. 平成15年度決算報告と平成16年度予算執行計画(案)

第1回工作センター運営委員会

- ・日時 平成16年8月5日(木)
- 議題 1. 平成15年度工作センター運営費執行状況及び平成16年度工作センター運営費執行計画(案)について
- 2. 平成16年度センター事業計画について
- 3. 設備費等の要求について
- 4. ものづくり講習会について

教務委員会

[第5回]

- ・日時 平成16年8月6日(金) 13時30分
- 議題 1. 大学院修了者(8月修了者)の認定について
- 2. 平成16年度第1学年入学者の課程配属決定について
- 3. 他大学との単位互換協定に基づく

学生の派遣・受入れについて

4. 学術交流協定に基づく学生の派遣・受入れについて
5. 研究生の選考について
6. 学位審査取扱規程の運用に関する申合せの改正について
7. 国立環境研究所及び産業安全研究所との連携大学院の実施について
8. 連携大学院に係る非常勤講師（客員教授・客員助教授）の選考について
9. 技術者倫理教育に関するカリキュラム改訂について

〔第6回〕

- ・日時 平成16年9月6日(月) 13時30分
- 議題
1. 学部卒業生（9月卒業生）の認定について
 2. 大学院修了生（9月修了生）の認定について
 3. 大学院学生（9月入学者）の指導教員の決定について
 4. 研究生の選考について
 5. 技術開発センター非常勤講師について
 6. 授業アンケートの様式について
 7. 技術者倫理教育に関するカリキュラム改訂について
 8. 機械創造工学専攻における「システム安全工学」専門コースについて
 9. 「博士学位授与審査の結果について」の本学ホームページへの掲載について

教務委員会教育課程専門部会

〔第2回〕

- ・日時 平成16年7月23日(木) 16時20分
- 議題
1. 平成17年度教育課程の編成について
 2. 平成17年度授業時間割表の作成について
 3. 平成17年度非常勤講師による授業実施計画について

〔第3回〕

- ・日時 平成16年9月28日(火) 14時30分
- 議題
1. 平成17年度授業時間割表の作成について
 2. ティーチング・アシスタント実施

計画について

3. 授業科目担当の各系分担について

教務委員会教養教育等専門部会

〔第1回〕

- ・日時 平成16年5月18日(火) 14時40分
- 議題
1. 部会立上げにおける確認と提案について
 2. 問題領域ごとの論点に関する懇談について
 3. 今後の進め方とスケジュールについて

〔第2回〕

- ・日時 平成16年7月30日(火) 13時30分
- 議題
1. 全体的な経過について
 2. 各コア活動報告について
 3. 来年度予算に関わる方策の具体化について
 4. 教養教育に関する教員の意識調査の実施について

〔第3回〕

- ・日時 平成16年9月29日(水) 16時20分
- 議題
1. 全体的な経過について
 2. 基礎学力向上策としての入学前教育実施対策について
 3. 教養教育理念の枠組みからみた現行科目の体系について
 4. 平成17年度カリキュラムの編成方針について
 5. 教養教育に関する教員の意識調査の実施について
 6. 来年度予算に関わる要求方針について

実務訓練委員会

〔第3回〕

- ・日時 平成16年8月2日(月)
(持ち回り議決日)
- 議題
1. 海外実務訓練ワーキンググループ等の設置について

〔第4回〕

- ・日時 平成16年9月27日(月) 9時
- 議題
1. 平成16年度実務訓練学生の派遣について
 2. 実務訓練派遣教員に係る旅費の配分について
 3. 平成17年度実務訓練シンポジウ

ムについて

4. 誓約書について

第1回情報処理センター運営委員会

- ・日時 平成16年7月9日(金) 16時20分
- 議題 1. 平成15年度決算報告について
- 2. 平成16年度実施計画及び予算執行計画について
- 3. その他

第1回マルチメディアシステムセンター運営委員会

- ・日時 平成16年9月29日(水) 10時30分
- 議題 1. 高等教育IT活用推進事業の報告について
- 2. 平成15年度決算及び平成16年度予算報告について
- 3. 専門部会について

学生委員会

〔第4回〕

- ・日時 平成16年7月12日(金) 16時15分
- 議題 1. 平成16年度前期授業料免除者の選考について

〔第5回〕

- ・日時 平成16年8月6日(金) 15時35分
- 議題 1. 学生の処分について

第1回体育・保健センター運営委員会

- ・日時 平成16年7月14日(月) 10時45分
- 議題 1. 平成16年度体育・保健センター年間行事等予定及び予算について
- 2. 平成17年度定期健康診断の日程について

附属図書館運営委員会

〔第3回〕

- ・日時 平成16年7月29日(木) 16時20分
- 議題 1. 継続図書の照会結果について
- 2. 学術雑誌購読希望調査結果について

〔第4回〕

- ・日時 平成16年9月29日(水) 13時30分
- 議題 1. 学術雑誌共通経費のタイトル決定について

第3回留学生委員会

- ・日時 平成16年8月24日(月) 9時30分
- 議題 1. 国際交流会館及び国際学生宿舎の入居者の選考について
- 2. 大学院社会人特別コースの入試選抜方法について

入学試験委員会

〔第4回〕

- ・日時 平成16年7月13日(火) 10時30分
- 議題 1. 平成16年度大学院工学研究科修士課程9月入学者選抜試験合格者の選考について
- 2. 平成16年度大学院工学研究科博士後期課程9月進学者の選考(第2次選考)について
- 3. 平成16年度大学院工学研究科博士後期課程9月入学者選抜試験合格者の選考について
- 4. 平成17年度第3学年(学力選抜)入学者選抜試験合格者の選考について
- 5. 平成17年度大学院工学研究科修士課程(高専専攻科修了見込者推薦選抜)入学者選抜試験合格者の選考について
- 6. 平成17年度第1学年入学者選抜評価要領(案)について
- 7. 平成17年度第1学年(推薦入学)学生募集要項(案)について
- 8. 平成17年度第1学年(推薦・後期日程)入学者選抜試験小論文出題委員の選出について
- 9. リスニングテストの試行テスト実施に伴う試験監督者の選出について
- 10. 普通高校等推薦入試選抜方法について

〔第5回〕

- ・日時 平成16年9月14日(火) 10時30分
- 議題 1. 平成17年度大学院工学研究科修士課程入学者選抜試験合格者の選考について
- 2. 平成17年度大学院工学研究科博士後期課程進学者の選考(第1次選考)について
- 3. 平成17年度大学院工学研究科博士後期課程入学者選抜試験(第1次選考)合格者の選考について

- | | |
|--|--|
| <p>4．平成 17 年度大学院工学研究科修士課程及び博士後期課程の第 2 次学生募集の実施について</p> <p>5．平成 17 年度大学院工学研究科修士課程及び博士後期課程入学者選抜試験日程表(9月進学)(案)について</p> <p>6．平成 17 年度第 1 学年学生募集要項(案)について</p> <p>7．平成 17 年度第 1 学年(推薦)入学者選抜試験実施要領(案)等について</p> <p>8．平成 17 年度第 1 学年(推薦及び一般選抜・後期日程)入学者選抜試験小論文出題委員の決定について</p> <p>9．平成 17 年度第 1 学年(推薦)入学者選抜試験委員等の選出について</p> | <p>10．平成 17 年度第 1 学年入学者選抜(一般選抜)出願資格審査及び採点チェックについて</p> <p>11．リスニング試行テストの実施について</p> <p>12．大学入試センター試験にかかる長岡造形大学との共同実施について</p> <p>13．平成 18 年度第 3 学年入学者選抜試験の実施方法について</p> <p>14．2006 大学案内の作成について</p> <p>15．普通高校等推薦入試選抜方法について</p> |
|--|--|

学 事

博士(工学)の学位授与

大学院工学研究科博士課程修了によるもの

学位記番号	氏 名	学位授与の日付	論 文 題 目
博甲第 318 号	芳 賀 仁	平成 16 年 8 月 31 日	パワーフローの脈動に着目した単相 - 三相電力変換器の高力率・小形化に関する研究
博甲第 319 号	Win Shwe Maw	平成 16 年 8 月 31 日	Flow Behaviors of Viscoelastic Fluid Dominated by Elongational Stress (粘弾性流体の伸張応力支配の流動現象に関する研究)
博甲第 320 号	時 田 修 二	平成 16 年 9 月 30 日	大気開放型化学気相析出法による酸化物薄膜の機能設計と工業応用
博甲第 321 号	Muttamara Apiwat	平成 16 年 9 月 30 日	Electrical Discharge Machining of Oxide Insulating Ceramics Using the Surface Modification Phenomena of Electrical Discharge (放電表面改質現象を用いた絶縁性酸化物セラミックスの放電加工)

論文提出によるもの

学位記番号	氏 名	学位授与の日付	論 文 題 目
博乙第 226 号	四 蔵 茂 雄	平成 16 年 7 月 14 日	開発途上国における廃棄物管理の現状とセルフサステナブル改善戦略に関する研究

平成17年度第1学年学生募集の概要

募集人員

学部	課程名	入学定員	募集人員				
			一般選抜		推薦入学	帰国子女 特別選抜	私費外国人 留学生 特別選抜
			前期日程	後期日程			
工学部	機械創造工学課程	80人	31人	10人	7人	若干人	若干人
	電気電子情報工学課程				7人		
	材料開発工学課程				5人		
	建設工学課程				5人		
	環境システム工学課程				5人		
	生物機能工学課程				5人		
	経営情報システム工学課程				5人		
計	80人	31人	10人	39人	若干人	若干人	

入学者の選抜方法

入学者の選抜は、次の方法により行います。

1 一般選抜

- (1) 入学者の選抜は、「分離・分割方式」で実施し、「前期日程」及び「後期日程」とも課程を区別せず一括して入学者を募集します。
- (2) 選抜の方法は、「大学入試センター試験」及び本学が実施する「個別学力検査」の総合点により行います。
また、出身学校長から提出された「調査書又は成績証明書」は選抜の基礎資料とします。
- (3) その他選抜方法等の詳細は、別表1(その1)、2-1、2-2を参照してください。
- (4) 所属課程の決定は、入学後、第1学年の第2学期に行います。

2 推薦入学

選抜方法等の詳細は、別表1(その2)及び別表3を参照してください。

3 帰国子女特別選抜

選抜方法等の詳細は、別表1(その2)及び別表4を参照してください。

4 私費外国人留学生特別選抜

選抜方法等の詳細は、別表1(その2)及び別表5を参照してください。

身体に障害を有する入学志願者との事前相談について

本学に入学を志願する者で、身体に障害(別表参照)があり、受験上特別な措置及び修学上特別な配慮が必要な場合は、あらかじめ本学入学試験係に申し出てください。申し出に基づき、特別な措置が必要となる場合には、申請書(様式任意)に健康診断書等必要書類を添付し、下記の期日までに提出してください。

- ・推薦入学
平成16年10月15日(金)
- ・一般選抜、帰国子女特別選抜、私費外国人留学生特別選抜
平成17年1月21日(金)

なお、特に必要な場合は、本学において、志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行います。また、例に示すような障害で、特別な措置を希望する場合は、上記の期日以降でも申し出を受け付けることがあります。

- (例)
1. 点字による出題を要しない程度の障害
 2. 補聴器の使用により、聴き取りに支障のない程度の障害
 3. 車いす等の使用により、移動に支障のない程度の障害

なお、申し出の内容によっては、本学の試験日までに対応できず、特別な措置が講じられないこともあります。

日常生活において、ごく普通に使用している補聴器、松葉杖、車いす等を使用して受験する場合も申し出てください。

別表

区 分	身 体 障 害 の 程 度
盲 者 (強度の弱視者を含む。)	両眼の視力がおおむね0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聾 者 (強度の難聴者を含む。)	両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のものうち、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢 体 不 自 由 者	1 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 2 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病 弱 者 (身体虚弱者を含む。)	1 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの 2 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの

(注) 学校教育法施行令第22条の3の規定に準拠した。

別表1 (その1)

平成17年度 長岡技術科学大学 入学者選抜方法等 (一般選抜、専門高校・総合学科卒業生選抜、アドミッション・オフィス入試)

学部・学科名	選抜方法等	個別学力検査等							専門高校・総合学科卒業生選抜					アドミッション・オフィス入試	個別学力検査等の日程	備考 (欠員の補充の方法等)		
		実技検査等				2段階選抜			実技検査等									
		個別学力検査を課する	実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する	主として、調査書の内容と大学入試センター試験の成績により第1段階選抜を行い、その合格者について更に必要な検査等を行う	第1段階の選抜による合格者数	定員に対する倍率	その他	個別学力検査を課する	実技検査を課する	面接を行う				小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する
工学部 機械創造工学課程 電気電子情報工学課程 材料開発工学課程 建設工学課程 環境システム工学課程 生物機能工学課程 経営情報システム工学課程	前期日程		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	-	×	平成17年 2月25日	追加合格
	後期日程	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×	-			平成17年 3月12日

注： は該当することを、×は該当しないことを示す。

別表1 (その2)

平成17年度 長岡技術科学大学 入学者選抜方法等 (特別選抜)

学部・学科名	選抜方法等	推薦入学						帰国子女・社会人等のための特別選抜				備考		
		入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、学力検査を免除し調査書を主な資料として判定する												
		個別学力検査を免除し、大学入試センター試験を課する	個別学力検査及び大学入試センター試験を免除する	実技検査等				推薦入学募集人員	帰国子女	私費外国人留学生	中国引揚者等子女		社会人	
工学部 機械創造工学課程 電気電子情報工学課程 材料開発工学課程 建設工学課程 環境システム工学課程 生物機能工学課程 経営情報システム工学課程		×		×			×	×	39人			×	×	推薦入学の募集人員は、機械創造工学課程及び電気電子情報工学課程は7人、その他の課程は各5人とする。

注1： は該当することを、×は該当しないことを示す。

注2： 学習成績概評Aに属する生徒のうち人物、学力ともに特に優秀で、高等学校長が責任を持って推薦できる者については、調査書「学習成績概評」欄にA標示を希望する。

別表 3

平成 17 年度 特別選抜方法（推薦入学）

長岡技術科学大学

実施学部・学科名	工学部	機械創造工学課程 材料開発工学課程 環境システム工学課程 経営情報システム工学課程	電気電子情報工学課程 建設工学課程 生物機能工学課程
募集人員	39 人（機械創造工学課程及び電気電子情報工学課程は各 7 人、その他の課程は各 5 人）		
出願要件	<p>次の各号のいずれかに該当する者で、人物、学力ともに優秀で、志望する課程への能力、適性等について出身学校長が責任をもって推薦できる者。</p> <p>平成 17 年 3 月高等学校の「工業に関する学科」の卒業見込み者及び「総合学科」の卒業見込み者で、工業に関する教科・科目を 20 単位以上修得（「情報に関する基礎的科目」及び「課題研究」の単位を含む）見込みの者。</p> <p>平成 17 年 3 月高等学校の「農業に関する学科」または「水産に関する学科」の卒業見込み者及び「総合学科」の卒業見込み者で、農業及び水産に関する教科・科目のいずれか、または、工業、農業及び水産に関する教科・科目合わせて 20 単位以上修得（「情報に関する基礎的科目」及び「課題研究」の単位を含む）見込みの者。</p> <p>平成 17 年 3 月高等学校の「商業に関する学科」の卒業見込み者及び「総合学科」の卒業見込み者で、商業に関する教科・科目を 20 単位以上、または工業及び商業に関する教科・科目を合わせて 20 単位以上修得（「情報に関する基礎的科目」及び「課題研究」の単位を含む）見込みの者。</p> <p>1 に該当する者が志望できる課程は、「材料開発工学課程」または「生物機能工学課程」とする。</p> <p>2 に該当する者が志望できる課程は、「経営情報システム工学課程」とする。</p>		
選抜方法等	出身学校長から提出された推薦書、調査書及び本学が実施する小論文、面接の各結果を総合して行う。		
出願期間	平成 16 年 11 月 2 日（火）～平成 16 年 11 月 5 日（金）		
選抜期日	平成 16 年 11 月 17 日（水）		
合格発表日	平成 16 年 12 月 9 日（木）		
その他	<p>1．学校長が責任をもって推薦できる者であれば人員に制限はない。ただし、合格した場合には入学の確約ができる者とする。</p> <p>2．学習成績概評 A に属する生徒のうち人物、学力ともに特に優秀で、学校長が責任をもって推薦できる者については、調査書「学習成績概評」欄に A 標示を希望する。 なお、この場合には、調査書「備考」欄にその理由を具体的に明示すること。</p> <p>3．平成 17 年度大学入試センター試験は課さない。</p> <p>4．同一人を他の国公立大学と重複して推薦できない。</p> <p>5．出願資格及び推薦の要件等で不明な点がある場合は、事前に問い合わせること。</p>		

別表 4

平成 17 年度 特別選抜方法（帰国子女）

長岡技術科学大学

実施学部・学科名	工学部	機械創造工学課程 材料開発工学課程 環境システム工学課程 経営情報システム工学課程	電気電子情報工学課程 建設工学課程 生物機能工学課程
募集人員	若 干 人		
出 願 要 件	<p>日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者で、次のいずれかに該当する者。</p> <p>1．外国において、学校教育における 12 年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を平成 15 年（2003 年）4 月 1 日から平成 17 年（2005 年）3 月 31 日までに卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者で、外国において、最終学年を含め 2 年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けている者。</p> <p>ただし、外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間は、外国において学校教育を受けたものとはみなさない。</p> <p>2．スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を平成 15 年又は平成 16 年に授与された者で、18 歳に達した者及び平成 17 年 3 月 31 日までに達する者。</p> <p>3．ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を平成 15 年又は平成 16 年に授与された者で、18 歳に達した者及び平成 17 年 3 月 31 日までに達する者。</p> <p>4．フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を平成 15 年又は平成 16 年に授与された者で、18 歳に達した者及び平成 17 年 3 月 31 日までに達する者。</p>		
選 抜 方 法 等	<p>出願書類並びに本学が実施する個別学力検査（数学及び理科）及び面接の各結果を総合して行う。</p> <p>・数学〔数 ・数 ・数 〕</p> <p>・理科〔物 B ・物 、化 B ・化 、生 B ・生 の 3 科目から 1 科目選択〕</p>		
出 願 期 間	平成 17 年 1 月 24 日（月） ～ 平成 17 年 2 月 2 日（水）		
選 抜 期 日	平成 17 年 2 月 25 日（金）		
合 格 発 表 日	平成 17 年 3 月 7 日（月）		
そ の 他	<p>1．平成 17 年度大学入試センター試験は課さない。</p> <p>2．海外在住者については、出願時に健康診断書を提出すること。</p> <p>なお、健康診断書は選抜には使用しない。</p>		

別表5

平成 17 年度 特別選抜方法（私費外国人留学生）

長岡技術科学大学

実施学部・学科名	工学部	機械創造工学課程 材料開発工学課程 環境システム工学課程 経営情報システム工学課程	電気電子情報工学課程 建設工学課程 生物機能工学課程
募集人員	若 干 人		
出 願 要 件	<p>日本の国籍を有しない者で、独立行政法人日本学生支援機構が実施する平成 16 年度日本留学試験（第 1 回または第 2 回。出題教科は、日本語、数学〔コース 2〕、理科〔2 科目自由選択〕の 3 教科 4 科目。）を受験している者のうち、次のいずれかに該当する者。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者及び平成 17 年 3 月 31 日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。 2. スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者で、18 歳に達した者及び平成 17 年 3 月 31 日までに達する者。 3. ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者で、18 歳に達した者及び平成 17 年 3 月 31 日までに達する者。 4. フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者で、18 歳に達した者及び平成 17 年 3 月 31 日までに達する者。 <p>なお、上記 1 から 4 のいずれの場合においても、「出入国管理及び難民認定法」において、大学入学に支障のない在留資格を有する者又は大学入学後に当該資格を取得可能な者であることが必要。</p>		
選 抜 方 法 等	<p>出願書類、日本留学試験の成績並びに本学が実施する個別学力検査（英語、数学、理科又は工業）及び面接の各結果を総合して行う。</p> <p>【個別学力検査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 英語 ・ 数学〔数 ・ 数 ・ 数 〕 ・ 理科〔物 B ・ 物 、 化 B ・ 化 、 生 B ・ 生 の 3 科目〕 ・ 工業〔機械工作・機械設計、電気基礎、工業化学、化学工学、土木設計、建築構造設計、環境工学・環境保全の 7 科目〕 <p>（注）英語及び数学は必須。理科又は工業の科目のいずれかを選択すること。</p> <p>ただし、工業の科目を選択できるのは、「工業に関する学科」を卒業（見込み）の者に限る。</p>		
出 願 期 間	平成 17 年 1 月 24 日（月） ～ 平成 17 年 2 月 2 日（水）		
選 抜 期 日	平成 17 年 2 月 25 日（金）		
合 格 発 表 日	平成 17 年 3 月 7 日（月）		
そ の 他	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成 17 年度大学入試センター試験は課さない。 2. 海外在住者については、出願時に健康診断書を提出すること。 <p>なお、健康診断書は選抜には使用しない。</p>		

平成17年度第1学年学生募集要項（推薦による入学者の選抜）

1 入学定員及び募集人員

学部	課程	入学定員	募集人員
工学部	機械創造工学課程	15人	7人
	電気電子情報工学課程	15人	7人
	材料開発工学課程	10人	5人
	建設工学課程	10人	5人
	環境システム工学課程	10人	5人
	生物機能工学課程	10人	5人
	経営情報システム工学課程	10人	5人
	計	80人	39人

2 出願資格及び推薦の要件

課程	機械創造工学課程 電気電子情報工学課程 建設工学課程 環境システム工学課程	材料開発工学課程 生物機能工学課程	経営情報システム工学課程
出願資格	平成17年3月高等学校の「工業に関する学科」の卒業見込み者。		
	平成17年3月高等学校の「総合学科」の卒業見込み者で工業に関する教科・科目20単位以上修得（「情報に関する基礎的科目」及び「課題研究」の単位を含む）見込みの者。		
推薦の要件	平成17年3月高等学校の「農業に関する学科」、又は「水産に関する学科」の卒業見込み者。	平成17年3月高等学校の「商業に関する学科」の卒業見込み者。	
	平成17年3月高等学校の「総合学科」の卒業見込み者で農業及び水産に関する教科・科目のいずれか20単位以上、又は工業、農業及び水産に関する教科・科目を合わせて20単位以上修得（「情報に関する基礎的科目」及び「課題研究」の単位を含む）見込みの者。	平成17年3月高等学校の「総合学科」の卒業見込み者で商業に関する教科・科目を20単位以上、又は工業及び商業に関する教科・科目を合わせて20単位以上修得（「情報に関する基礎的科目」及び「課題研究」の単位を含む）見込みの者。	
推薦の要件	1 上記～の者で、人物、学力ともに優秀で、志望する課程への能力、適性等について出身学校長が責任をもって推薦できる者としてします。		
	2 推薦できる人員に制限はありません。 ただし、合格した場合に入学の確約ができる者としてします。		
	3 平成17年度大学入試センター試験の受験は必要ありません。		
	4 同一人を他の国公立大学と重複して推薦できません。		

3 志望課程の選定

(1) 第1志望の課程

入学志願者は、前記「2 出願資格及び推薦の要件」に示す課程から、志望する1課程を選んでください。

(2) 第2志望の課程

第2志望として選ぶことができる課程は、次のとおりです。

「工業に関する学科」卒業見込み者。「総合学科」卒業見込み者のうち工業に関する教科・科目20単位以上修得（「情報に関する基礎的科目」及び「課題研究」の単位を含む）見込みの者。

第1志望の課程以外のすべての課程から1課程を選ぶことができます。

「農業に関する学科」又は「水産に関する学科」卒業見込み者。「総合学科」卒業見込み者のうち農業及び水産に関する教科・科目のいずれか20単位以上、又は工業、農業及び水産に関する教科・科目を合わせて20単位以上修得（「情報に関する基礎的科目」及び「課題研究」の単位を含む）見込みの者。

第1志望の課程以外の材料開発工学課程又は生物機能工学課程を選ぶことができます。

「商業に関する学科」卒業見込み者。「総合学科」卒業見込み者のうち商業に関する教科・科目を20単位以上、又は工業及び商業に関する教科・科目を合わせて20単位以上修得（「情報に関する基礎的科目」及び「課題研究」の単位を含む）見込みの者。

第2志望を選ぶことはできません。

4 出願手続

(1) 願書受付期間

平成16年11月2日(火)～平成16年11月5日(金) (期間内必着)

(注)ただし、郵送の場合、平成16年11月3日(水)以前の発信局消印のある書留・速達郵便に限り、上記受付期間後に到着した場合でも受け付けます。

持参の場合、受付時間は、9:00～17:00です。(土曜日、日曜日及び祝日は除きます。)

(2) 出願に必要な書類等

書 類 等	摘 要
1 入学志願票	必要事項を本人が記入してください。
2 写真票・受験票・検定料 振込済証明書貼付票	写真は、正面上半身無帽（縦40 [㍉] ×横30 [㍉] ）で出願以前3か月以内に撮影したものを所定欄にはり付けてください。
3 検定料 (本学所定の検定料振込依頼書 により振込)	17,000円 本学所定の検定料振込依頼書で金融機関（郵便局を除く。）に振り込みのうえ、取扱銀行収納印を押した「 検定料振込済証明書 」を必ず受け取り、「 検定料振込済証明書貼付票 」の所定の位置にはり付けてください。なお、「受取書」は領収書となりますので、大切に保管してください。 検定料の納付は金融機関（郵便局を除く。）の受付窓口での振り込みに限ります。（ATMは使用不可。） 検定料の納付は願書受付期間の始まる3週間前から行えます。
4 調査書	文部科学省所定の様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。 (注)出身学校長は、学習成績概評Aに属する生徒のうち人物、学力ともに特に優秀で、出身学校長が責任をもって推薦できる者については、「学習成績概評」欄にAと標示してください。 なお、この場合には、「備考」欄にその理由を具体的に明示してください。
5 推薦書	本学所定の用紙により、出身学校長が作成してください（ワープロソフト等による印字可）。
6 志望調書	本学所定の用紙により、本人が記入してください。
7 あて名票（本人住所）	合格・その他通知に使用しますので、4か所すべてに所要事項を記入してください。
8 返信用封筒	本人の住所・氏名・郵便番号を記入し、350円分の切手をはり付けてください。受験票等の送付に使用します。

(3) 出願書類の提出等

出願書類等は、本学所定の「送り状」を用い、出身学校でとりまとめのうえ、提出してください。

(注1)複数の被推薦者がある場合は、1志願者ごとに本学所定の出願用封筒に入れ、それを一括して出身学校の封筒に入れて、「推薦選抜」と朱書し、書留・速達で送付してください。

(注2)提出された出願書類は、いかなる事情があっても返還しません。

また、提出された出願書類の記載事項の変更は、認めません。

ただし、現住所等に変更があったときは、速やかに届け出てください。

(注3)振込済の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還いたしません。

検定料を振り込んだが本学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合

検定料等を誤って二重に振り込んだ場合

5 選抜の方法

出身学校長から提出された推薦書、調査書及び本学が実施する小論文、面接の各結果を総合して行います。
なお、「小論文」、「面接」とも、受験しなければ失格となります。

(1) 小論文

出題の意図を理解しているか、文章が論理的に構成されているか等を評価します。

課題は、当日指定します。

(2) 面接

個人面接を行い、人物・適性をみます。(高等学校における教科に関する試問を行うことがあります。)

(3) 配点

科目名	推薦書・調査書	小論文	面接	計
配点	60点	60点	180点	300点

6 選抜試験の日時及び場所

期 日	区 分	時 間	場 所
平成16年11月17日(水)	小論文	10:00~11:00	長岡技術科学大学
	面接	12:30~	

7 合格者の発表等

(1) 合格者の発表

平成16年12月9日(木) 午前10時

本学を受験番号を掲示するとともに、出身学校長あて合否を文書で通知し、併せて合格者には、「合格通知書」を送付します。(電話等による合否の照会には、一切応じません。)

また、合格者の受験番号を本学のホームページにも掲載します。

長岡技術科学大学のホームページアドレスは、<http://www.nagaokaut.ac.jp/>です。

(2) 入学確約書の提出

合格者は、長岡技術科学大学長あてに「入学確約書」(用紙は、合格通知書とともに送付します。)を出身学校長を経由して、平成16年12月22日(水)(必着)までに提出してください。

2005年度大学院工学研究科修士課程社会人留学生特別コース学生募集要項
(国費外国人留学生用)(概要)

1 特別コースの目的

本コースは、国費外国人留学生対象国・地域(主としてASEAN及び東アジア)の社会人に対し、工学に関する学習・研究の機会を与え、母国の産業の発展に寄与できる者を養成することを目的としています。

2 募集人員

研究科名	専攻名	募集人員
工学研究科	機械創造工学専攻 電気電子情報工学専攻 材料開発工学専攻 建設工学専攻 環境システム工学専攻 生物機能工学専攻 経営情報システム工学専攻	10人以内

3 出願資格及び要件

(1) 国籍及び年齢等 次のすべてに該当する者

国費外国人留学生募集対象国・地域(主としてASEAN及び東アジア)の国籍を有する者で、その地域に在住している者

出願時に、大学、研究所又は企業等に研究者又は技術者として在職している者

財団法人海外技術者研修協会(以下「AOTS」という。)の元研修生である者

2005年4月1日現在で、満35歳未満の者(1970年4月2日以降に出生した者)

(2) 学歴 次のいずれかの資格を有する者

日本の大学を卒業した者

外国において学校教育における16年の課程を修了した者

外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者

大学卒業までに16年を要しない国において大学教育を修了した者であって、次の二つの要件を満たし、かつ、本学大学院が我が国の大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

イ) 大学教育修了後、日本国内又は国外の大学、若しくは大学共同利用機関等これに準ずる研究機関において、研究生、研究員等としておおむね1年以上研究に従事した者又は2005年8月31日までに、おおむね1年以上研究に従事する見込みの者

ロ) 2005年8月31日において22歳に達している者

本学大学院が、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2005年8月31日において、22歳に達している者

(注) 上記出願資格 又は により出願する者は、学士の学位を有する者と同等以上の学力を有しているか審査するため、出願前に本学入学試験係に問い合わせること。

(3) その他

2005年9月上旬までに渡日できない者は出願できません。

指定の期日までに渡日できない者は、採用が取り消されます。

過去に国費外国人留学生であった者については、2005年8月現在で帰国後3年間の教育・研究等の経歴がない者は出願できません。

現役軍人又は軍属の資格のまま、奨学金の支給を受けることはできません。

(出願することもできません。)

夫婦の一方が既に国費外国人留学生に採用されている場合、又は夫婦が同時に応募する場合は、原則として他の一方の者は採用されません。

自国政府・民間団体等他の機関から奨学金を受給している者は、採用されません。

4 出願手続

(1) 出願書類等

出願に必要な書類等は次のとおりです。

日本政府（文部科学省）奨学金留学生申請書	正本 1 部	A
専攻分野及び研究計画書	正本 1 部	B
日本政府（文部科学省）奨学金留学生申請書（別紙）	正本 1 部	C
入学申請書（別紙 2）	正本 1 部	D
写真票及び受験票	正本 1 部	E
健康診断書（出願以前 3 か月以内に受診し、医師が作成したもの）	正本 1 部	F
推薦書	正本 1 部	G
（出身大学の教員等が作成し、厳封のもの 2 通、その内少なくとも 1 通は出身大学の研究科長レベル以上の者が作成したもの）		
本国の戸籍謄本又は市民権等の証明書	正本又は写し 1 部	
出身大学の卒業証明書（出身大学が発行し、証明したもの）	正本 1 部	
出身大学の成績証明書	正本 1 部	H
（出身大学が発行し証明したもので、厳封のもの）		
学位論文概要等（論文内容を簡潔にまとめたもの）	正本 1 部	
在職証明書（勤務先の所属長が作成したもの）	正本 1 部	I
研究業績等報告書	正本 1 部	
（在職中に本人が行った業務内容の概要〔研究論文、技術報告、特許等の写し等〕）		
A O T S の研修修了証書のコピー	1 部	
（修了証書が発行されないアジア緊急経済対策支援研修参加者は、コース名又は研修当時の企業名を入学申請書（様式 D）の 7 研修歴に記入すること）		
英語の能力を証明する書類	正本 1 部	
（本修士課程は英語プログラムです。したがって、TOEFL、TOEIC 等の国際的に認知された英語能力試験結果の証明書を提出することが望ましい。ただし、英語プログラムによる課程で最終学位を取得した場合には、そのことを証明する書類を提出することにより、英語能力試験の結果の証明書に替えることができます。）		

（注 1）これらの書類は、すべて英語又は日本語により作成すること。（その他の言語による場合は、訳文を添付。）

（注 2）上記書類のうち、～、～の書類は本学所定の用紙を使用すること。これら以外の書類については、できるだけタイプを用いて A 4 判サイズに統一して作成すること。

（注 3）上記の申請書がすべて完全かつ正確に記載されていない場合、付属書類が完全にそろっていない場合又は提出期限が過ぎたものについては受理しません。

（注 4）提出書類の返却はしません。

(2) 出願書類の提出期限及び提出先

提出期限 2004 年 9 月 15 日（水） 《必着》

提出先 所属国の A O T S 事務所

5 選考方法

選考は、書類審査、学力試験及び面接試験で行い、国費外国人留学生として文部科学省への推薦者を決定します。

(1) 書類審査は、4 (1) に示した出願書類で行います。

(2) 書類審査に合格した者に対し、現地において学力試験及び面接試験を行います。学力試験は、専門科目（専攻しようとする学問分野、数学を含む）及び英語とします。

(3) 学力試験及び面接試験の日時及び場所は、A O T S 事務所を通じ後日連絡します。

6 合格者の発表

文部科学省への推薦者には、2005年2月下旬に、文部科学省国費外国人留学生採択者には、2005年6月下旬に、AOTS事務所を通じて通知します。

2005年度大学院工学研究科修士課程社会人留学生特別コース学生募集要項 (私費外国人留学生用)(概要)

1 特別コースの目的

本コースは、主としてASEAN及び東アジア諸国出身の社会人に対し、工学に関する学習・研究の機会を与え、母国の産業の発展に寄与できる者を養成することを目的としています。

2 募集人員

研究科名	専攻名	募集人員
工学研究科	機械創造工学専攻 電気電子情報工学専攻 材料開発工学専攻 建設工学専攻 環境システム工学専攻 生物機能工学専攻 経営情報システム工学専攻	5人程度

3 出願資格及び要件

(1) 国籍等 次のすべてに該当する者

主としてASEAN及び東アジア諸国の国籍を有する者
出願時に、それぞれの国の企業又は日本の企業等に在職している者
日本の企業等において実務研修を修了した者

(2) 学歴 次のいずれかの資格を有する者

日本の大学を卒業した者
外国において学校教育における16年の課程を修了した者
外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
大学卒業までに16年を要しない国において大学教育を修了した者であって、次の二つの要件を満たし、かつ、本学大学院が我が国の大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
イ) 大学教育修了後、日本国内又は国外の大学、若しくは大学共同利用機関等これに準ずる研究機関において、研究生、研究員等としておおむね1年以上研究に従事した者又は2005年8月31日までに、おおむね1年以上研究に従事する見込みの者
ロ) 2005年8月31日において22歳に達している者
本学大学院が、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2005年8月31日において、22歳に達している者

4 出願手続

(1) 出願資格及び志望専攻の確認

出願資格及び志望専攻の確認をしますので、2004年8月31日(火)までに次の書類を提出してください。

提出された書類を確認し、2004年9月15日(水)までに結果を連絡いたします。

入学申請書	正本1部	A
専攻分野及び研究計画	正本1部	B
入学申請書(別紙)	正本1部	C
出身大学の卒業証明書(出身大学が発行し、証明したもの)	正本1部	

(2) 提出書類等

出願資格及び志望専攻の確認結果の連絡があったら、次の書類を提出してください。
提出期限は、2004年10月15日(金)《必着》です。

写真票及び受験票	正本1部	D
健康診断書(出願以前3か月以内に受診し、医師が作成したもの)	正本1部	E
推薦書 (出身大学の教員等が作成し、厳封のもの2通、その内少なくとも1通は出身大学の研究科長レベル以上の者が作成したもの)	正本1部	F
本国の戸籍謄本又は市民権等の証明書 (主としてASEAN諸国の企業等に在職する者)	正本又は写し1部	
又は登録原票記載事項証明書(日本の企業等に在職する者)	正本又は写し1部	
出身大学の成績証明書 (出身大学が発行し証明したもので、厳封のもの)	正本1部	G
学位論文概要等(論文内容を簡潔にまとめたもの)	正本1部	
在職証明書(勤務先の所属長が作成したもの)	正本1部	H
研究業績等報告書 (在職中に本人が行った業務内容の概要〔研究論文、技術報告、特許等の写し等])	正本1部	
研修歴を証明する書類	正本又は写し1部	
英語の能力を証明する書類 (本修士課程は英語プログラムです。したがって、TOEFL、TOEIC等の国際的に認知された英語能力試験結果の証明書を提出することが望ましい。ただし、英語プログラムによる課程で最終学位を取得した場合には、そのことを証明する書類を提出することにより、英語能力試験の結果の証明書に替えることができます。)	正本1部	

検定料振込領収書のコピー

1部

下記の検定料を銀行で振込んでください。

検定料 30,000円

領収書は、必ず保管してください。

送金手数料は、払込人の負担です。

(振込先銀行)

みずほ銀行(銀行番号 0001)

新潟支店(支店番号 400)

口座番号 普通預金 1717958

口座名義 長岡技術科学大学

(注1) これらの書類は、すべて英語又は日本語により作成すること。(その他の言語による場合は、訳文を添付。)

(注2) 上記書類のうち、(1) ~、(2) ~、 の書類は本学所定の用紙を使用すること。これ以外の書類についてはできるだけタイプを用いてA4判サイズに統一して作成すること。

(注3) 上記の申請書がすべて完全かつ正確に記載されていない場合、付属書類が完全にそろっていない場合又は提出期限が過ぎたものについては受理しません。

(注4) 提出書類の返却はしません。

(3) 出願書類の提出期限及び提出先

(1) の提出期限 2004年8月31日(火)

(2) の提出期限 2004年10月15日(金)《必着》

提出先 〒940-2188 日本国 新潟県長岡市上富岡町 1603-1
長岡技術科学大学 入学試験係

5 選考方法

選考は、書類審査、学力試験及び面接試験で行います。

(1) 書類審査は、4(1)及び(2)に示した出願書類で行います。

- (2) 書類審査に合格した者に対し、現地又は本学において学力試験と面接試験を行います。
 学力試験は、専門科目（専攻しようとする学問分野，数学を含む）及び英語とします。
- (3) 学力試験及び面接試験の日時及び場所は、後日連絡します。

6 合格者の発表

合格者には、2005年2月中旬に通知します。

2005年度大学院工学研究科博士後期課程社会人留学生特別コース学生募集要項

(国費外国人留学生用)(概要)

1 特別コースの目的

本コースは、国費外国人留学生募集対象国・地域（主としてASEAN諸国）の社会人に対し、工学に関する学習・研究の機会を与え、研究指導者として母国の産業の発展に寄与できる者を養成することを目的としています。

2 募集人員

研 究 科 名	専 攻 名	募 集 人 員
工 学 研 究 科	情 報 ・ 制 御 工 学 専 攻	6 人 以 内
	材 料 工 学 専 攻	
	エ ネ ル ギ ー ・ 環 境 工 学 専 攻	

なお、専攻については付録1を参照してください。

3 出願資格及び要件

(1) 国籍及び年齢等 次のすべてに該当する者

国費外国人留学生募集対象国・地域（主としてASEAN諸国）の国籍を有する者で、その地域に在住している者

出願時に教育研究機関又は企業等に研究者又は技術者として在職している者

2005年4月1日現在で、満35歳未満の者（1970年4月2日以降に出生した者）

(2) 学 歴 次のいずれかの資格を有する者

修士の学位を有する者

外国において修士の学位に相当する学位を授与された者

外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位に相当する学位を授与された者

大学を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、国・公・私立の大学及び研究機関並びに民間企業等の研究所その他の研究開発のための施設において、2年以上研究開発に従事した者で、当該研究開発の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると本学大学院が認めた者

本学大学院が、個別の出願資格審査により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2005年8月31日において、24歳に達している者

(注) 上記出願資格 又は により出願する者は、修士の学位を有する者と同等以上の学力を有しているか審査するため、出願前に本学入学試験係に問い合わせること。

(3) その他

2005年9月上旬までに渡日できない者は出願できません。

指定の期日までに渡日できない者は、採用が取り消されます。

過去に国費外国人留学生であった者については、2005年8月現在で帰国後3年間の教育・研究等の経歴がない者は出願できません。

現役軍人又は軍属の資格のまま、奨学金の支給を受けることはできません。

(出願することもできません。)

夫婦の一方が既に国費外国人留学生に採用されている場合、又は夫婦が同時に応募する場合は、原

則として他の一方の者は採用されません。

自国政府・民間団体等他の機関から奨学金を受給している者は、採用されません。

4 出願手続

(1) 出願書類等

出願に必要な書類等は次のとおりです。

日本政府(文部科学省)奨学金留学生申請書 正本1部 A

専攻分野及び研究計画 正本1部 B

日本政府(文部科学省)奨学金留学生申請書(別紙) 正本1部 C

入学申請書(別紙2) 正本1部 D

写真票及び受験票 正本1部 E

健康診断書(出願以前3か月以内に受診し、医師が作成したもの) 正本1部 F

推薦書 正本1部 G

(出身大学の教員等が作成し、厳封のもの2通、その内少なくとも1通は出身大学の研究科長レベル以上の者が作成したもの)

本国の戸籍謄本又は市民権等の証明書 正本又は写し1部

修士学位証明書(出身大学が発行し、証明したもの) 正本1部

出身大学及び大学院の成績証明書 正本1部 H

(出身大学が発行し、証明したもので厳封のもの)

修士論文等 正本1部

(修士論文又はこれに代わる論文(写し)論文要旨及び研究論文の写し)

在職証明書(勤務先の所属長が作成したもの) 正本1部 I

研究業績等報告書 正本1部

(在職中に本人が行った業務内容の概要〔研究論文、技術報告、特許等の写し等〕)

英語の能力を証明する書類 正本1部

(本博士課程は英語プログラムです。したがって、TOEFL、TOEIC等の国際的に認知された英語能力試験結果の証明書を提出することが望ましい。ただし、英語プログラムによる課程で最終学位を取得した場合には、そのことを証明する書類を提出することにより、英語能力試験の結果の証明書に替えることができます。)

(注1) これらの書類は、すべて英語又は日本語により作成すること。(その他の言語による場合は、訳文を添付。)

(注2) 上記書類のうち、～、～、～の書類は本学所定の用紙を使用してください。これら以外の書類については、できるだけタイプを用いてA4判サイズに統一して作成すること。

(注3) 上記の申請書がすべて完全かつ正確に記載されていない場合、付属書類が完全にそろっていない場合又は提出期限が過ぎたものについては受理しません。

(注4) 提出書類の返却はしません。

(2) 出願書類の提出期限及び提出先

提出期限 2004年10月15日(金)《必着》

提出先 〒940-2188 日本国 新潟県長岡市上富岡町1603-1
長岡技術科学大学 入学試験係

なお、AOTS研修経験者は、2004年9月15日(水)までに所属国のAOTS事務所に提出すること。また、出願後の連絡は同事務所を通じて行います。

5 選考方法

選考は書類審査及び面接試験で行い、国費外国人留学生として文部科学省への推薦者を決定します。

(1) 書類審査は、4(1)に示した出願書類で行います。

(2) 書類審査に合格した者に対し、現地において面接試験を行います。

面接試験は、専門科目(専攻しようとする専門分野)及び英語の口述試験を含みます。

なお、書類審査のみで選考が可能な者は、面接試験を免除することがあります。

(3) 面接試験の日時及び場所は、該当者に後日連絡します。

6 合格者の発表

文部科学省への推薦者には、2005年2月下旬に、文部科学省国費外国人留学生採択者には、2005年6月下旬に、通知します。

2005年度 大学院工学研究科博士後期課程社会人留学生特別コース募集要項

(私費外国人留学生用)(概要)

1 特別コースの目的

本コースは、主としてASEAN諸国出身の社会人に対し、工学に関する学習・研究の機会を与え、研究指導者として母国の産業の発展に寄与できる者を養成することを目的としています。

2 募集人員

研究科名	専攻名	募集人員
工学研究科	情報・制御工学専攻	3人程度
	材料工学専攻	
	エネルギー・環境工学専攻	

なお、専攻については付録を参照してください。

3 出願資格及び要件

(1) 国籍等

主としてASEAN及び東アジア諸国の国籍を有する者
出願時に、それぞれの国の企業又は日本の企業等に在職している者

(2) 学歴 次のいずれかの資格を有する者

修士の学位を有する者

外国において修士の学位に相当する学位を授与された者

外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位に相当する学位を授与された者

大学を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、国・公・私立の大学及び研究機関並びに民間企業等の研究所その他の研究開発のための施設において、2年以上研究開発に従事した者で、当該研究開発の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると本学大学院が認めた者

本学大学院が、個別の出願資格審査により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2005年8月31日において、24歳に達している者

4 出願手続

(1) 出願資格及び志望専攻の確認

出願資格及び志望専攻の確認をしますので、2004年8月31日(火)までに次の書類を提出してください。

提出された書類を確認し、2004年9月15日(水)までに結果を連絡いたします。

入学申請書	正本1部	A
専攻分野及び研究計画	正本1部	B
入学申請書(別紙)	正本1部	C
修士学位証明書(出身大学が発行し、証明したもの)	正本1部	

(2) 提出書類等

出願資格及び志望専攻の確認結果の連絡があったら、次の書類を提出してください。

提出期限は、2004年10月15日(金)《必着》です。

写真票及び受験票	正本1部	D
----------	------	---

健康診断書（出願以前3か月以内に受診し、医師が作成したもの） 正本1部 E
推薦書 正本1部 F
（出身大学の教員等が作成し、厳封のもの2通、その内少なくとも1通は出身大学の研究科長レベル以上の者が作成したもの）

本国の戸籍謄本又は市民権等の証明書

（主としてASEAN諸国の企業等に在職する者） 正本又は写し1部
又は登録原票記載事項証明書（日本の企業等に在職する者） 正本又は写し1部

出身大学及び大学院の成績証明書

（出身大学が発行し、証明したもので厳封のもの） 正本1部 G

修士論文等

（修士論文又はこれに代わる論文（写し）論文要旨及び研究論文の写し） 正本1部

在職証明書（勤務先の所属長が作成したもの）

正本1部 H

研究業績等報告書

正本1部

（在職中に本人が行った業務内容の概要〔研究論文、技術報告、特許等の写し等〕）

英語の能力を証明する書類

正本1部

（本博士課程は英語プログラムです。したがって、TOEFL、TOEIC等の国際的に認知された英語能力試験結果の証明書を提出することが望ましい。ただし、英語プログラムによる課程で最終学位を取得した場合には、そのことを証明する書類を提出することにより、英語能力試験の結果の証明書に替えることができます。）

検定料振込領収書のコピー

1部

下記の検定料を銀行で振込んでください。

検定料 30,000円

領収書は、必ず保管してください。

送金手数料は、払込人の負担です。

（振込先銀行）

みずほ銀行（銀行番号 0001）

新潟支店（支店番号 400）

口座番号 普通預金 1717958

口座名義 長岡技術科学大学

（注1）これらの書類は、すべて英語又は日本語により作成すること。（その他の言語による場合は、訳文を添付。）

（注2）上記書類のうち、（1）～、（2）～、の書類は本学所定の用紙を使用してください。これら以外の書類については、できるだけタイプを用いてA4判サイズに統一して作成すること。

（注3）上記の申請書がすべて完全かつ正確に記載されていない場合、付属書類が完全にそろっていない場合又は提出期限が過ぎたものについては受理しません。

（注4）提出書類の返却はしません。

（3）出願書類の提出期限及び提出先

（1）の提出期限 2004年8月31日（火）

（2）の提出期限 2004年10月15日（金）《必着》

提出先 〒940-2188 日本国 新潟県長岡市上富岡町 1603-1
長岡技術科学大学 入学試験係

5 選考方法

選考は、書類審査及び面接試験で行います。

（1）書類審査は、4（1）及び（2）に示した出願書類で行います。

（2）書類審査に合格した者に対し、現地又は本学において面接試験を行います。

面接試験は、専門科目（専攻しようとする専門分野）及び英語の口述試験を含みます。

なお、書類審査のみで選考が可能な者は、面接試験を免除することがあります。
 (3) 面接試験の日時及び場所は、該当者に後日連絡します。

6 合格者の発表

合格者には、2005年2月中旬に通知します。

平成17年度第3学年入学者選抜状況

1 課程別

課 程	入学定員	募集人員		志願者	受験者	合格者		
機械創造工学課程	75	推	37	推	36 (2)	36 (2)	38 (2)	*1
		学	38	学	86 (1)	71 (1)	67 (1)	*4
電気電子情報工学課程	75	推	37	推	66 (1)	66 (1)	55 (1)	
		学	38	学	112 (7)	91 (6)	62 (4)	
材料開発工学課程	30	推	15	推	13 (3)	13 (3)	15 (3)	*2
		学	15	学	43 (8)	37 (6)	37 (5)	*5
建設工学課程	30	推	15	推	13	13	13	
		学	15	学	41 (6)	30 (3)	25 (3)	*6
環境システム工学課程	40	推	20	推	18 (3)	18 (3)	18 (3)	*3
		学	20	学	32 (8)	30 (7)	29 (6)	*7
生物機能工学課程	40	推	20	推	24 (6)	24 (6)	23 (6)	
		学	20	学	37 (11)	28 (9)	30 (9)	*8
経営情報システム工学課程	20	推	10	推	12 (1)	12 (1)	12 (1)	
		学	10	学	13 (5)	13 (5)	16 (5)	*9
合 計	310	推	154	推	182 (16)	182 (16)	174 (16)	
		学	156	学	364 (46)	300 (37)	266 (33)	
		計	310	計	546 (62)	482 (53)	440 (49)	
倍 率 (対定員)		推		推	1.18	1.18		
		学		学	2.33	1.92		

[平成16年度： 推 1.07 1.07
 学 2.42 2.00]

- *1 電気電子情報工学課程からの第2志望合格者2名を含む。
- *2 電気電子情報工学課程からの第2志望合格者1名、生物機能工学課程からの第2志望合格者1名を含む。
- *3 電気電子情報工学課程からの第2志望合格者1名を含む。
- *4 電気電子情報工学課程からの第2志望合格者4名を含む。
- *5 機械創造工学課程からの第2志望合格者1名、電気電子情報工学課程からの第2志望合格者1名を含む。
- *6 環境システム工学課程からの第2志望合格者1名を含む。
- *7 電気電子情報工学課程からの第2志望合格者1名を含む。
- *8 機械創造工学課程からの第2志望合格者1名、電気電子情報工学課程からの第2志望合格者2名を含む。
- *9 電気電子情報工学課程からの第2志望合格者4名を含む。

1 - (1) 出身校種別調

校 種 別		志願者	受験者	合格者
高等専門学校	推	182 (16)	182 (16)	174 (16)
	学	354 (45)	290 (36)	258 (32)
短期大学	学	8 (1)	8 (1)	8 (1)
専修学校	学	2	2	0
その他	学	0		
合 計		546 (62)	482 (53)	440 (49)

() は女子、 は社会人をそれぞれ内数で示す。

1 - (2) 現役・浪人別調

区 分		志願者	受験者	合格者
卒業見込者	推	182 (16)	182 (16)	174 (16)
	学	357 (45)	293 (36)	261 (32)
16.3 卒業者	学	2	2	1
15.3 卒業者	学	2 (1)	2 (1)	2 (1)
14.3 卒業者	学	1	1	0
13.3 以前卒業者	学	2	2	2
合 計		546 (62)	482 (53)	440 (49)

1 - (3) 県内・県外別調

区 分		志願者	受験者	合格者
県内出身者	推	12 (1)	12 (1)	11 (1)
	学	75 (9)	69 (7)	61 (7)
県外出身者	推	170 (15)	170 (15)	163 (15)
	学	289 (37)	231 (30)	205 (26)
合 計		546 (62)	482 (53)	440 (49)

2 外国人留学生

課 程		志願者	受験者	合格者
機械創造工学課程	推	5	5	5
	学	7	6	3
電気電子情報工学課程	推	3 (1)	3 (1)	3 (1)
	学	14 (1)	11 (1)	6 (1)
材料開発工学課程	推学			
建設工学課程	推	1	1	1
	学	2	1	2
環境システム工学課程	推学			
生物機能工学課程	推学	2	1	1
経営情報システム工学課程	推			
	学	5 (1)	5 (1)	3 (1)
合 計	推	9 (1)	9 (1)	9 (1)
	学	30 (2)	24 (2)	15 (2)
	計	39 (3)	33 (3)	24 (3)

* 経営情報システム工学課程からの第2志望合格者1名を含む。

2 - (1) 出身校種別調 (外国人留学生)

		志願者	受験者	合格者
高等専門学校	推	9 (1)	9 (1)	9 (1)
	学	19 (1)	14 (1)	8 (1)
短期大学	学			
専修学校	学	10 (1)	9 (1)	6 (1)
その他	学	1	1	1
合計		39 (3)	33 (3)	24 (3)

平成 17 年度大学院工学研究科修士課程入学者選抜状況 (第 1 次募集)

専攻	募集人員	学内選抜			一般選抜			社会人特別選抜			外国人留学生特別選抜			高等専門学校専攻科 修了見込者推薦選抜			合格者 合計			
		志願者	受験者	合格者	志願者	受験者	合格者	志願者	受験者	合格者	志願者	受験者	合格者	志願者	受験者	合格者				
機械創造工学専攻	97	81	81	81	18 (7)	18 (7)	15 (5)	3 (3)	3 (3)	3 (3)				7 (7)	7 (7)	7 (7)	106 (15)			
電気電子情報工学専攻	98	1	1	1	80	80	80	14 (6)	14 (6)	10 (5)			1 (1)	1 (1)	0	9 (9)	9 (9)	9 (9)	99 (14)	
材料開発工学専攻	47	1	1	1	40	40	40	6 (1)	6 (1)	4						2 (2)	2 (2)	2 (2)	46 (2)	
建設工学専攻	40	1	1	1	19	19	19	6	5	5				1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	25 (1)		
環境システム工学専攻	50				37	37	37	12 (3)	12 (3)	11 (2)				3 (3)	3 (3)	3 (3)	3 (3)	51 (5)		
生物機能工学専攻	50				26	26	26	11 (4)	11 (4)	11 (4)								37 (4)		
経営情報システム工学専攻	30	2	2	2	21	21	21	3	3	3			1 (1)	1 (1)	0	2 (2)	2 (2)	2 (2)	26 (2)	
計	412	5	5	5	304	304	304	70 (21)	69 (21)	59 (16)	3 (3)	3 (3)	3 (3)	2 (2)	2 (2)	0	24 (24)	24 (24)	24 (24)	390 (43)

(注) 上段は、外国人留学生を外数で示す。() は、他大学等の出身者、 は、社会人特別選抜による者をいずれも内数で示す。

平成 17 年度大学院工学研究科博士後期課程入学者選抜状況 (第 1 次募集)

専攻	募集人員	学内進学			一般選抜 (外国人留学生を含む)			社会人特別選抜			進学 内定 者	合格者
		志願者	辞退者	内定者	志願者	受験者	合格者	志願者	受験者	合格者		
情報・制御工学専攻	16										5	
材料工学専攻	8	1		1							1	
		10	2	8							8	
エネルギー・環境工学専攻	6	1		1	1 (1)	1 (1)	1 (1)				1	1 (1)
		13		13				1	1	1	13	1
計	30	2		2	1 (1)	1 (1)	1 (1)				2	1 (1)
		28	2	26				1	1	1	26	1

注 1 上段は外国人留学生を外数で示す。

注 2 内は、修士修了見込者数を内数で示す。(学内進学者を除く。)

注 3 () 内は、他大学大学院等出身者数を内数で示す。

諸 報

受賞関係

賞等の名称及び受賞年月日	表彰団体名	被表彰者名	受賞の対象となった研究題目等
平成 14 年度建設工学奨励金 平成 16 年 5 月 19 日	(財)建設工学研究振興会	環境・建設系・助手 山川優樹	分岐を伴う地盤の大変形問題に対する合理的な数値解析手法の開発と評価
平成 15 年度土木学会賞論文奨励賞 平成 16 年 5 月 28 日	(社)土木学会	環境・建設系・助手 山川優樹	地盤材料における分岐現象と変形局所化に関する研究(総合題目)
Honorary Plaque 平成 16 年 7 月 27 日	スラナリ工科大学(タイ)	機械系・教授 武藤睦治	スラナリ工科大学発展に対する貢献
文部科学大臣賞 平成 16 年 7 月 30 日	(社)日本工学教育協会	理事 丸山久一, 機械系・教授 矢鍋重夫, 電気系・教授 中川匡弘, 化学系・教授 小松高行, 生物系・教授 渡邊和忠	実務訓練(長期実践型実習)と教育効果
優秀研究賞 平成 16 年 8 月 20 日	熱電変換研究会	機械系・助教授 武田雅敏	ホウ素系熱電変換素子の開発
平成 16 年電気学会基礎・材料・共通部門特別賞 平成 16 年 8 月 30 日	(社)電気学会基礎・材料・共通部門	極限エネルギー密度工学研究センター・教授 八井浄	平成 15 年 8 月 25 日~26 日に長岡技術科学大学において開催された,電気学会基礎・材料・共通部門大会を企画し,実行したことに対する表彰
名誉教授 平成 16 年 9 月 10 日	華南理工大学	学長 小島陽	-
林知己夫賞(優秀賞) 平成 16 年 9 月 17 日	日本行動計量学会	経営情報系・助教授 植野真臣	AN EXTENSION OF THE IRT TO A NETWORK MODEL

技術開発懇談会

- ・ 期日 平成 16 年 7 月 20 日(火)
- 時間 18 時~20 時
- 場所 ニュー大黒ビル 6 F 会議室
- テーマ 大都市部地下空間構築技術の現状と将来展望
- 話題提供者 環境・建設系 教授 杉本光隆
- 参加者 13 名

- ・ 期日 平成 16 年 9 月 10 日(火)
- 時間 18 時~20 時
- 場所 アトリウム長岡
- テーマ 高臨場感デジタルサウンド再生技術
- 話題提供者 電気系 教授 島田正治
- 参加者 11 名

平成 16 年度高度技術者研修

- ・ 日時 平成 16 年 8 月 26 日(水) 9 時
- 場所 生物 1 号棟 4 階第一会議室他
- 講座名 生物由来材料の構造・物性評価
- 対象者 本分野に特に関心のある現職の技術者等
- 参加者 6 名

長岡市による燃料電池自動車展示・体験同乗会

- ・ 期日 平成 16 年 9 月 27 日(月)
- 時間 12 時~14 時
- 場所 セコムホール
- 対象者 本学教職員、学生等
- 参加者 74 名

第 1 回 e H E L P (e ラーニング総合活用高等教育連携事業) 全体会議

「e H E L P (e ラーニング総合活用高等教

育連携事業)の推進、及び、現代的教育ニーズ取組支援プログラム申請について」等を議題に次のとおり開催した。

- ・日時 平成 16 年 7 月 12 日(月) 14 時
- 場所 ホテルフロラシオン青山

技術職員研修

- ・日時 平成 16 年 8 月 19 日(木)~20 日(金)
- 場所 信州大学工学部、長野県工業試験場、長野県裾花ダム管理事務所
- 参加者 37 名

中学校数学アカデミー

- ・日時 平成 16 年 8 月 5 日(木) 9 時
- 場所 総合研究棟メディア閲覧室、セコムホール
- テーマ 「数学のおもしろさ、不思議さにふれよう！」
「数学を活用しよう！」
「数学を創ろう！」
- 講師 機械系・木村哲也助教授
田村淳一助手
- 参加者 長岡市内中学校 3 年生 17 名

サイエンス・パートナーシップ・プログラム「教育連携講座」(前期)

- ・日時 平成 16 年 8 月 5 日(木)~6 日(金)
- 講師 環境・建設系・・・岩崎英治助教授、松下和正教授、佐藤一則教授、小出学助手
生物系・・・渡邊和忠教授、霜田靖助手
- 参加者 長岡高校 4 名、柏崎高校 3 名

「教育連携講座」(後期)

- ・日時 平成 16 年 8 月 19 日(木)~20 日(金)
- 講師 機械系・・・木村哲也助教授
電気系・・・武井由智助教授、斎藤和夫助手、古谷清蔵助手、タンスリヤボンスリヨン助手、今田剛助手、正本利行助手
化学系・・・梅田実助教授、村上能規助手
生物系・・・福田雅夫教授、政井英司助教授、宮内啓介助手
経営情報系・・・鈴木泉助手
マルチメディアシステムセンター・・・永森正仁助手

参加者 長岡向陵高校 7 名、長岡大手高校 3 名、柏崎高校 3 名

「教員研修」

- ・日時 平成 16 年 8 月 9 日(月)~10 日(火)
- 講師 機械系・・・高橋秀雄助教授
電気系・・・打木久雄教授、濱崎勝義教授、安井寛治助教授、石黒孝助教授、北谷英嗣助教授
化学系・・・山田明文教授、野坂芳雄教授、丸山一典助教授、内田希助教授、村上能規助手
生物系・・・曾田邦嗣教授、渡邊和忠教授、城所俊一助教授、内山尚志助手、霜田靖助手、関安孝助手
- 参加者 新潟県内高校理科教員 20 名

匠陵講演会

- ・日時 平成 16 年 7 月 14 日(水) 8 時 50 分
- 場所 F 講義室
- 演題 「ものづくりの発展過程と産学連携」
- 講師 山形県立産業技術短期大学
学校長 清水 二郎 氏
- ・日時 平成 16 年 9 月 22 日(水) 15 時 30 分
- 場所 A 講義室
- 演題 「国立大学法人化後の大学の競争力」
- 講師 (社)未踏科学技術協会
理事長 木村 茂行 氏
- ・日時 平成 16 年 9 月 29 日(水) 14 時 40 分
- 場所 A 講義室
- 演題 「女性だからできる、仕事も家事も子育ても」
- 講師 アマッシュバイオサイエンス(株)
代表取締役社長 服部 恵子 氏

特別講演会

- ・日時 平成 16 年 9 月 16 日(木) 10 時 30 分
- 場所 D 講義室
- 演題 「現在の創薬研究 - 新薬誕生までの総合研究プロセスの特徴と実際」
- 講師 エーザイ(株)フロンティア研究所
所長 菱沼 宇春 氏
- ・日時 平成 16 年 9 月 22 日(水) 13 時
- 場所 マルチメディアシステムセンター
- 演題 「日本列島における深刻な海浜汚染問題と自然環境の魅力」

講師 防衛大学校建築環境工学科
教授 山口 晴幸 氏

第3位 はむ スtring

・日時 平成16年9月29日(水) 13時
場所 マルチメディアシステムセンター
演題 「デジタル技術がもたらした世界」
講師 広島大学名誉教授 市川 忠男 氏

第24回駅伝大会

・日時 平成16年10月1日(金)
場所 構内道路及び中庭
成績 第1位 コメ♡
第2位 Gimu gimu
第3位 陸上部Z

第1回就職ガイダンス

・日時 平成16年7月14日(水)
1回目 13時 2回目 18時
場所 講義棟A講義室
内容 1. 「理系学生の就職内容」
2. 職務適性テスト
講師 (株)ディスコ業務推進部課長
北井 洋二 氏

第6回(平成16年度)高等専門学校及び技術 科学大学図書館情報シンポジウム

高専/高専機構と本学との連携について確認
することを目的として開催した。

・期日 平成16年8月19日(木)~8月20日(金)
場所 マルチメディアシステムセンター
テーマ 「高専/高専機構と本学との連携に
ついて」

エイズ講演会

・日時 平成16年9月22日(木) 8時50分
場所 講義棟A講義室
演題 「孤独と絶望からの生還」
講師 岡山大学保健環境センター教授
戸部 和夫 氏

内容

【講演】

「本学の方針について - 高専との連携・支
援」 附属図書館長 西口郁三
「国立高専機構と高専の関係 - 運営と教育」
独立行政法人国立高等専門学校機構理事
宮城工業高等専門学校校長 四ツ柳隆夫氏
「研究者から見たコンソーシアム」
沖縄工業高等専門学校総合科学科(数学)
助教授 知念直紹氏

第53回関東甲信越大学体育大会

・日時 平成16年8月23日(月)~27日(金)
競技種目・会場
水泳 長岡市悠久山プール
テニス 長岡市営希望ヶ丘テニス場
弓道 長岡市民体育館弓道場

【報告】

「全国高専要望・意見調査 集計結果報告」
電子ジャーナル部門担当 深澤百合子
「本学のこれまでの高専支援報告と今後の方
針について」 附属図書館長 西口郁三

第24回技大祭

学生による技大祭が開催された。
本祭 平成16年9月18日(土)
平成16年9月19日(日)

【商品案内】

「JDream」 (独) 科学技術振興機構
「ASME、レファレンスブック等」 丸善(株)
「SciFinder Scholar」(社) 化学情報協会

秋季球技大会

学生による秋季球技大会が課外活動団体会議
主催により開催された。

・期日 平成16年9月25日(土)
場所 体育館
成績 フットサル
第1位 パスターズアルデンテ
第2位 インター
第3位 おじいちゃんポリデンツ
バレーボール
第1位 赤毛のアン
第2位 だっけだっけそいがっ子

【マッチングタイム】

本学図書館の方針と高専からの要望

外国人留学生交流ネットワーク構築に係る協 議会(長岡技術科学大学タイ同窓会)

本学が一層国際化を推進していく上で重要な
拠点であると思われるタイにおいて、様々な取
組みと効果を期待し、協議会を開催した。

・日時 平成16年8月8日(日) 18時
場所 ミラクルグランドホテル(バンコク)
出席者 卒業生・修了生 40名程度

A O T S 事務所関係者
学長、西口副学長、石崎副学長等

第2回留学生センター研究会

- ・日時 平成16年9月14日(火)
- 場所 日本語演習室
- 演題 「JADプログラムにおける日本語教育の実践」
- 講師 拓殖大学外国語学部助教授
阿久津 智 氏

平成16年度科学研究費補助金交付決定一覧

(単位：千円)

研究種目	課題番号	研究代表者	研究課題名	交付決定額
特定領域研究(1)	14050043	野坂 芳雄	反応活性種の時空間解析による高機能光触媒の設計	6,300
	16080102	小松 高行	パノスコピック形態制御された希土類系物質の光物性とその高次機能設計	1,700
		2件	計	8,000
特定領域研究(2)	15033229	井上 泰宣	d ₁₀ 電子状態の金属イオンを含む複合金属酸化物光触媒による水の分解反応	2,500
	16015244	和田 安弘	運動生成・認知メカニズムにおける時間・空間制約に関する研究	6,000
	16040208	伊藤 治彦	水素含有ラジカルの分光計測にもとづく電界放出型マイクロプラズマ素子の最適化	2,900
	16041214	曾田 邦嗣	蛋白質の非天然状態の構造における疎水効果の役割と分子機構の解析	5,000
	16047208	渡邊 和忠	ジャクスタパノード分子複合体による軸索・ミエリン間情報伝達機構の解析	3,700
	16080207	小松 高行	希土類原子加熱法によるパノスコピック形態制御光学機能ガラスの創製と光波制御	11,600
		6件	計	31,700
基盤研究S	16104006	東 信彦	高分解能計測技術を用いた極地氷床氷のマイクロ物性の解明と変形機構図の構築	43,200
		1件		43,200
基盤研究(B)(1)	15360046	岡崎 正和	超高温用TBC被膜の密着機構・強度の支配因子解明と熱疲労寿命延伸・設計への展開	6,500
	14404019	早川 典生	松花江流域における積雪分布調査と融雪流出予測システムの開発	1,000
	16360225	丸山 久一	日本海沿岸の過酷環境下における社会基盤コンクリート構造物の維持管理対策	9,400
		3件	計	16,900
基盤研究(A)(2)	15206088	井上 泰宣	共鳴振動効果を用いた制御機能を持つ固体触媒の開発	8,900
	16201018	大橋 晶良	活性汚泥法からの脱却・21世紀の超低コスト型新規下水処理システムの創成	10,300
	16206054	原田 秀樹	途上国の水起因衛生リスク低減のための持続可能な適正下水処理技術の国際共同開発	16,900
	16206068	斎藤 秀俊	酸化物ナノアーキテクチャーの光学的ハーモニー	6,300
		4件	計	42,400
基盤研究(B)(2)	14350070	明田川正人	超高フィネス光共振器と結晶格子スケールによるピコメートル測長法の開発	700
	14350359	五十野 善信	高分子・ゴム材料の構造非線形性：非線形プローブ・微分動的弾性率による評価と予測	1,400
	14350380	伊藤 義郎	フェムト秒レーザー加工ダイナミクスの超高速時間分解観察による検証	1,900
	14350467	西口 郁三	環境調和型電子移動型反応による実践的炭素結合形成反応と分子間タンデム型環化反応	2,900
	14350494	塩見 友雄	結晶性ブロック共重合体ブレンドの複合相転移による構造形成とその制御	5,000
	14380365	渡邊 和忠	コンタクチンサブグループ分子とNotch間情報伝達を介するミエリン形成機構	3,000
	15300070	中川 匡弘	脳波のカオス・フラクタル性の計測技術の確立と感性情報処理システムの創製	7,900
	15310034	小林 高臣	内分泌攪乱物質認識分離機能性ハイブリッド分子インプリントフィルターとその応用開発	5,300
	15360203	島田 正治	トーカー・トランスファ・サウンドシステムの構築	4,100
	13555197	伊藤 治彦	表面反応確率計測にもとづく超硬質窒化炭素膜コーティング技術の確立	800
	16300265	植野 真臣	eラーニングにおける学習履歴の高度データ・マイニング機能を持つ知的LMSの開発	9,600
	16310054	解良 芳夫	難分解性含塩素有機リン酸トリエステル類の微生物分解機構の解明	5,800
	16350098	梅田 実	集積型パウダーマイクロ電極を用いるナノ粒子電極触媒上のアルコール酸化反応機構研究	6,600
	16350111	藤原 巧	レーザによるガラスのナノ局所構造制御と光子伝達型フォトニック回路の創製	7,800
	16360050	武藤 睦治	ツインレーザービームおよび熱応力解析による機能性材料の精密切断～“評価”から“応用”へ、破壊力学の新展開～	9,900
	16360137	野口 敏彦	環境と運転性能を両立する車載用ターボチャージャーの超高速電動ドライブに関する研究	10,900
	16360171	河合 晃	高分子集合体間の相互作用力制御に基づいた35nmサイズの微細レジストパターン開発	8,600
	16360217	杉本 光隆	リングせん断試験による地盤と鋼の動摩擦把握による急曲線シールド機モデルの高精度化	6,900
	16360312	石黒 孝	メゾスコピック凸凹・光整合電極を組込んだ高効率色素増感太陽電池システムの創製	4,600
	16360324	小松 高行	サマリウム原子加熱法による方位制御単結晶ラインの創製とデバイス展開	8,600
	16380058	福田 雅夫	PCB分解酵素系転写誘導の分子メカニズムの解明	4,900
		21件	計	117,200

基盤研究C(1)	16636019	斎藤 秀俊	アモルファス炭素系薄膜の科学	3,300
		1件	計	3,300
基盤研究(C)(2)	14550005	内富 直隆	- V族希薄磁性半導体のSiヘテロエピタキシーとその制御に関する研究	200
	14550260	大石 潔	外界センサレス接線力推定に基づく通勤電車用次世代高粘着制御の開発	400
	14550525	松本 昌二	構造的・心理的方法による持続可能な都市交通戦略に関する国際比較研究	900
	14550721	伊藤 治彦	高分解能レーザー分光法にもとづく窒化炭素材料の水素量制御と電界放出素子への展開	200
	14580413	和田 安弘	コミュニケーションパターンの運動指令とシンボルの獲得学習モデルに関する研究	700
	15500611	加納 満	工学系留学生のための教科書読解支援Viewシステムの開発研究	800
	15560040	濱崎 勝義	Bi-2212単結晶を用いたSISナノアレイ型高周波ミキサの開発	800
	15560092	柳 和久	表面凹凸データ解析用ツールの標準化を指向した広領域ソフトゲージと実量器の開発	1,500
	15560114	金子 覚	多孔質含油軸受における運転時間に伴う含油率低減に関する解析モデルの構築	1,000
	15560133	高橋 勉	複屈折の微視的分布測定による界面活性剤水溶液の流動誘起構造変化と不安定発生の解明	1,300
	15560134	増田 渉	超音速流よう素レーザの排気圧力回復技術の開発	700
	15560176	青木 和夫	導波管およびキャビティ内におけるマイクロ波加熱の制御と最適化	1,700
	15560313	安井 孝成	一桁以上の検出帯域を有するテラHz帯検出器の開発	2,400
	15560321	荻原 春生	選択性フェージング通信路における時空間符号化接続トリス符号化変調系の研究	1,400
	15560322	中川 健治	次世代IPネットワークにおけるQoS制御の研究	1,400
	15560402	長井 正嗣	連続合成桁の初期ひび割れ状態を考慮した新しいひび割れ制御設計法の開発	2,200
	15560469	藤田 昌一	市街地の雨水排除における流出解析技術の近代化に関する研究	1,700
	15560531	中出 文平	地方都市における区域区分制度創設時の実態とその後の運用に関する研究	1,000
	16500123	中村 和男	心身様態対応の動作理解・生成のための言語媒介コンピューティング	900
	16550108	竹中 克彦	ジアルキルアミド基を含むポリジエンを用いた高分子キラルストレイナーの創製	2,700
	16560022	赤羽 正志	ホログラフィック光誘起メゾスコピック界面による液晶分子配向制御と記録素子への応用	2,500
	16560034	打木 久雄	Ce添加カルシウムチオガレート結晶の光利得特性とレーザ発振	3,200
	16560177	門脇 敏	環境触媒と高温空気燃焼技術を利用した水素・メタン超希薄燃焼のスマートコントロール	2,900
	16560206	矢鍋 重夫	プリンタ・複写機における紙しわ発生メカニズム解明に関する基礎研究	3,400
	16560207	太田 浩之	転がり案内の玉通過振動の計算予測と低減技術の開発	1,700
	16560459	力丸 厚	衛星観測データによる森林被覆密度分布推定のグローバル適用アルゴリズムの開発	1,700
	16560628	佐藤 一則	電気伝導性酸化物微粒子を高分散担持した電解質・燃料極界面のメタン完全酸化活性	2,600
	16580055	政井 英司	リグニンの有用物質変換に必要なプロトカテック酸メタ開裂系遺伝子群の転写制御	1,900
		28件	計	43,800
萌芽研究	14654131	井上 泰宣	異常光起電力効果をもつ半導性強誘電体の光触媒活性	900
	14655333	西口 郁三	超分子型分子集積体の創製と高性能触媒およびデバイス機能の開発	700
	15656038	明田川正人	マルチプローブによる結晶格子を基準とするピコメートルエリアエンコーダの開発	900
	15656045	久曾神 煌	圧電素子の超音波振動を利用した動的運動誤差補正可能な非接触駆動型モータの開発	1,600
	15656126	大橋 晶良	視覚的な微生物群衆の検出・遺伝子発現・基質代謝解析に不可欠な細胞壁処理技術の開発	1,400
	15656156	植松 敬三	光機能用結晶粒子配向透明セラミックス創製	1,000
	16650001	三上 喜貴	国際符号化文字集合におけるCollating Weightの設計法に関する研究	1,500
	16655087	小松 高行	アサーマル性と光非線形性を同時に満たす透明結晶化ガラスの創製	2,300
	16656087	野口 敏彦	交流モータのユニバーサルセンサレス制御の可能性に関する研究	1,400
	16656105	河合 晃	微細凹凸構造での微小気泡の吸着・脱離制御に基づく新規メモリデバイスの開発	2,200
	16656224	伊藤 義郎	IT・OE用基板のレーザークリーニング機構の実空間・時間分解応力測定による検証	2,300
	16658036	井町 寛之	微生物の共生関係を巧みに利用した嫌気共生培養による未知環境微生物の分離手法の確立	1,900
		12件	計	18,100

若手研究(B)	14750285	坪根 正	多様な非線形現象を呈するスイッチング回路の合成と解析に関する研究	500
	14750365	滑川 徹	初期状態の不確かさを考慮したH 制御による磁気軸受の過渡応答改善に関する研究	500
	14760044	高橋 祥司	酵母におけるD - アスパラギン酸に特異的な転写誘導機構の解明	600
	14760154	高橋 一義	衛星・航空機データによる稲作支援システム構築に関する基礎研究	700
	15700286	霜田 靖	GPIアンカー型神経認識分子NB - 2/NB - 3を含む分子複合体の同定と機能解析	2,300
	15740178	加藤 有行	Eu光学遷移を利用したストイキオメトリック希土類硫化化合物レーザー媒質	2,100
	15750114	齊藤 信雄	共鳴振動により発生させた触媒表面上の格子変位における表面物性変化と触媒活性化効果	400
	15760020	木村 宗弘	超省電力型液晶表示素子に用いるレーザー光誘起ナノグレーティング界面配向の研究	900
	15760054	宮下 幸雄	光機能ガラスセラミックスの機能に及ぼす力学的影響の解明と機能の疲労特性評価	1,900
	15760130	赤堀 匡俊	微粒子を含む液の凝固における電気二重層力の作用とその効果を利用した透明な氷の作製	1,300
	15760405	姫野 修司	バイオエネルギー有効利用のための高性能吸着剤による消化ガス吸着貯蔵システムの開発	1,000
	15760508	鈴木 常生	材料設計を基盤とした次世代高硬度・耐酸化性コーティング材料の開発	900
	15760519	興村 勇人	水素吸蔵合金による炭化水素ガスからの水素の直接改質	600
	15760538	松丸 幸司	レーザーによる精密切断用砥石のトポグラフィ制御	700
	16700134	山本 和英	高密度表現を利用したまとめ型要約に必要な言語変換技術	1,900
	16700224	大西 巖	音楽感性を利用した心理・健康診断システムの開発	2,700
	16720119	松田真希子	複合名詞句形成のメカニズムとその応用	1,800
	16750010	西山 洋	金属担持酸化物の触媒作用に及ぼす弾性表面波の格子変位効果	2,300
	16760195	磯部 浩巳	超音波振動による音響放射圧を利用したクランプ機構を持つインテーム型微動装置	2,500
	16760319	タスマリアホン スリコ	アウェアネス映像における人物表示の制御によるプライバシー保護手法の開発	800
16760390	山川 優樹	大変形地盤挙動の高精度予測評価:合理的解析手法の開発と現行設計基準への反映	1,100	
16760487	樋口 秀	地方都市における高齢者の中心市街地への移住可能性に関する研究	1,500	
16760530	武田 雅敏	ホウ素系化合物におけるキャリア制御 - 熱電材料としての特性向上 -	2,100	
16780052	宮内 啓介	PCB分解酵素系における新規転写制御メカニズムの解明	2,000	
		24件	計	33,100
奨励研究	16914007	宮 正光	小中学生のための科学教育用教材キット「オイル入り万華鏡」の開発とその実践的研究	750
	16919062	豊田 英之	分光偏光解析法のバンド計算によるデータ解析及びその光物性教材としての活性	720
		2件	計	1,470
		104件	計	359,170

日誌

7月4日(日)	平成16年度関東甲信越地区国立大学法人等職員採用合同説明会(東京大学安田講堂)	20日(火)	技術開発懇談会(ニュー大黒ビル)	第10回新潟県大学図書館協議会総会(長岡造形大学)
6日(火)	平成17年度第3学年入試(一般・社会人・外国人留学生)(~7日)	22日(木)	実験廃液処理施設廃液等処理現場実地見学会	オープンハウス(~8月27日)
9日(金)	平成17年度概算要求説明(文部科学省仮庁舎)	29日(木)	第1学期授業終了	長岡まつり民踊流し参加(職員・学生)
12日(月)	eラーニング総合活用高等教育連携事業(eHELP)全体会議(ホテルフロラシオン青山)	30日(金)	夏期休業開始	キャンパスクリーン作戦
	マラヤ大学との協定調印式	31日(土)	2004オープンキャンパス	平成16年度新潟県大学ガイダンスセミナー(メルパルク新潟)
	情報関係懇談会	8月1日(日)	長岡まつり民踊流し参加(職員・学生)	大学情報データベース構築に関する説明会(一橋記念講堂)
13日(火)	「特色ある大学教育支援プログラム」ヒアリング(アルカディア市ヶ谷)	2日(月)	平成16年度新潟県大学ガイダンスセミナー(メルパルク新潟)	利益相反マネジメントを考える会(東海大学校友会館)
14日(水)	就職ガイダンス	3日(火)	大学情報データベース構築に関する説明会(一橋記念講堂)	高大連携講座【高校生対象・前期】(~6日)
15日(木)	平成17年度第3学年(一般・社会人・外国人留学生)合格発表	5日(木)	高大連携講座【高校生対象・前期】(~6日)	高等専門学校・長岡技術科学大学教員交流研究集会【環境・建設系】(~6日)
	平成17年度修士課程高専専攻科修了見込者推薦選抜合格発表			中学校数学アカデミー
	平成16年度9月入学修士課程、博士後期課程合格発表			

- | | | | |
|---------|--|----------|---|
| 6日(金) | 学位記授与式
産学連携実務者シンポジウム
(日本大学会館, ~ 8日) | 10日(金) | 一般定期健康診断(生活習慣病
検査)
技術開発懇談会(アトリウム長
岡) |
| 9日(月) | 高大連携講座【教員対象】(~ 10
日)
COE国際シンポジウム(バン
コク, ~ 11日) | 15日(水) | 平成17年度修士課程国費社会人
留学生出願受付期限(所属AOT
S事務所) |
| 17日(火) | 平成17年度大学入試センター試
験入試担当者連絡協議会(第1
回)(メルパルク東京) | 16日(木) | 平成17年度修士課程・博士後期
課程合格発表
長岡・豊橋両技大情報交換会
(如水会館) |
| 19日(木) | 高専・技科大図書館シンポジウ
ム(~ 20日)
高大連携講座【高校生対象・後
期】(~ 20日)
技術職員集団研修(長野方面, ~
20日) | 17日(金) | 技大祭準備(休講) |
| 23日(月) | 関東甲信越大学体育大会(~ 27
日)
平成17年度博士後期課程(一
般・外国人留学生・社会人)出
願受付(~ 26日)
高等専門学校・長岡技術科学大
学教員交流研究集会【生物系】 | 18日(土) | 技大祭(~ 19日) |
| 24日(火) | 平成16年度独立行政法人国立高
等専門学校機構東日本地域技術
職員特別研究(~ 26日) | 20日(月) | 技大祭後片付け |
| 24日(火) | 平成16年度独立行政法人国立高
等専門学校機構東日本地域技術
職員特別研究(~ 26日) | 22日(水) | 平成16年度大学ガイダンスセミ
ナー「県内大学との入試懇談
会」(アトリウム長岡)
匠陵講演会「国立大学法人化後
の大学の競争力」 |
| 25日(水) | 平成17年度修士課程(一般・外
国人留学生・社会人)出願受付
(~ 30日) | 24日(金) | 国立大学法人単科大学事務局長
会議(ホテルニューオータニ長
岡)
越越協会役員会(長岡グランド
ホテル) |
| 26日(木) | 平成16年度国立高等専門学校協
会主催高等専門学校教員研究集
会(長野工業高等専門学校, ~
27日)
高度技術者研修(生物系, ~ 27
日) | 25日(土) | 秋季球技大会(学生) |
| 30日(月) | 平成17年度大学院博士後期課程
入試(学内1次, ~ 9月1日)
高等専門学校・長岡技術科学大
学教員交流研究集会【機械系】
(~ 31日) | 26日(日) | 平成18年度大学入試センター試
験におけるリスニングの試行テ
スト |
| 31日(火) | 夏期休業終了 | 27日(月) | 学位記授与式
長岡市による燃料電池自動車啓
発事業 |
| 9月2日(木) | 平成17年度修士課程入試(学内
推薦)
平成17年度博士後期課程入試
(1次, ~ 3日) | 28日(火) | 平成16年度関東・甲信越地区国
立大学法人等係長研修(~ 10月
1日, 国立オリンピック記念青少
年総合センター) |
| 3日(金) | 入学式 | 29日(水) | 匠陵講演会「女性だからでき
る、仕事も家事も子育ても」 |
| 6日(月) | 平成17年度修士課程入試(1
次, ~ 7日) | 10月1日(金) | 開学記念日
第24回学内駅伝競走大会 |
| 9日(木) | 長岡技術者協会工業技術に関す
る見学会(第一測範製作所, 越後
製菓) | | |

平成 16 年度学内委員会委員等の異動

異動年月日	委員会名等	新委員	旧委員
16.9.6	実務訓練委員会	武藤 睦 治	樋口 良之
16.10.1	国際交流会館主事	渡辺 研 司	
"	国際学生宿舎主事	渡辺 研 司	
"	留学生委員会	渡辺 研 司	
"	クラス担当教員 第4学年	ザバルスキー パヴォル	
"	防火対策委員会系部会	鈴木 泉	
"	広報委員会公式ホームページ専門部会	吉田 富美男	
"	広報委員会高専広報専門部会	塩野谷 明	
"	留学生委員会大学院社会人留学生特別コース専門部会	渡辺 研 司	